

プログラム

第1会場：橘

特別講演1

9:00～10:00

座長：上之原広司（国立病院機構 仙台医療センター）

SP1-1 テロリズムと事態対処医療

防衛医科大学校 医学教育部 防衛医学講座 清住 哲郎

シンポジウム1「大規模人為災害に対する救急医療の備え」

10:10～12:00

座長：森野 一真（山形県立中央病院）

山内 聡（大崎市民病院 救命救急センター）

SY1-1 我が国のマラソン・ロードレースにおける救護・医療体制整備指針の策定について

大曲仙北広域市町村圏組合消防本部 佐々木光晴

SY1-2 「祭り・花火大会における応急救護体制整備指針」策定について

大曲仙北広域市町村圏組合消防本部 伊藤 清

SY1-3 多数傷病者発生事案に対する現場出動と院内受け入れ態勢の考察

仙台市立病院 救急科 庄子 賢

SY1-4 ラグビーワールドカップ2019釜石会場の大規模人為災害対策について

岩手医科大学 岩手県高度救命救急センター 大間々真一

SY1-5 東京オリンピック福島開催における大規模人為災害に対する救急医療の備え

公立大学法人 福島県立医科大学 救急医療学講座 塚田 泰彦

SY1-6 宮城県内の大規模人為災害に対する備え

東北大学病院高度救命救急センター 藤田 基生

ランチョンセミナー1「脳血栓回収療法—急性期脳梗塞患者を救うための取組み—」

12:10～13:00

座長：小島 隆生（福島県立医科大学 脳神経外科）

LS-1 八戸市立市民病院における急性期血栓回収療法の取組み

八戸市立市民病院 脳神経外科 鈴木 一郎

共催：日本ストライカー株式会社

特別講演2

13:30～14:30

座長：久志本成樹（東北大学大学院医学系研究科 外科病態学講座救急医学分野）

SP2-1 地域包括ケアと救急医療

厚生労働省 政策参与 武田 俊彦

シンポジウム2 「地域包括ケアと救急医療」

14:40 ~ 16:40

座長：村田 祐二（仙台市立病院）

廣瀬 保夫（新潟市民病院 救命救急・循環器病・脳卒中センター）

SY2-1 高齢者福祉施設との連携に向けて

仙台市消防局 警防部 救急課 森 俊三

SY2-2 地域包括ケアと救急医療 ―新潟市の現状からの考察―

新潟市民病院 救命救急・循環器病・脳卒中センター 熊谷 謙

SY2-3 青森市における当院救命救急センターと地域包括ケアとの関わり

青森県立中央病院 救命救急センター 齋藤 兄治

SY2-4 高齢者率の高い地域の救命救急センターの現状と役割

一般財団法人 温知会 会津中央病院 看護部局 小林 誠一

SY2-5 気仙沼市立病院の救急診療の現状と課題

気仙沼市立病院 循環器科 尾形 和則

SY2-6 救急医療におけるソーシャルワーカーの役割
～救急認定ソーシャルワーカーの視座から～

仙台市立病院 医療ソーシャルワーカー / 救急認定ソーシャルワーカー 澤井 彰

SY2-7 地域包括ケアシステムを支える救急医療

仙台市地域包括支援センター連絡協議会 / 特別養護老人ホームハートケア鶴ヶ谷 折腹実己子

特別発言 「かかりつけ医と救急医療」～仙台市の在宅医からの特別発言～

ひかりクリニック 院長 / 仙台市医師会 理事 清治 邦章

第2会場：萩

一般演題 1 「取り組み・調査研究 1」

9:00 ~ 10:00

座長：須田 志優 (岩手県立磐井病院 麻酔科)
乗田 定晴 (青森地域広域事務組合 東消防署)

- 1 指令業務における救命率向上に向けた取り組みについて
仙台市消防局 福岡 和也
- 2 ST上昇型心筋梗塞における救急救命士の12誘導心電図判読能力検証結果と今後の課題
にかほ市消防本部 齋藤 隆男
- 3 急性冠症候群疑い症例における病院前12誘導心電図記録のタイミング
新潟市消防局 笠原 篤
- 4 救急現場へ人工呼吸器を携行する必要性について
新潟県柏崎市消防本部 中西 達也
- 5 現場滞在時間短縮に向けた天童市消防本部の取り組み
天童市消防本部 伊瓶 雄平
- 6 相互理解を深めることを目的とした、医療関係者の救急車同乗研修について
秋田市消防本部 藤田 陽光

一般演題 2 「特定行為」

10:10 ~ 11:00

座長：佐藤 光弥 (公立置賜総合病院 救命救急センター)
千葉 智広 (秋田市消防本部 救急課)

- 7 アドレナリンは速やかに投与されているか～現場投与の増加による変化と課題～
長岡市消防本部 山崎 憲和
- 8 病院前救護におけるアドレナリン初回投与のタイミングが傷病者の予後に与える影響
～新潟市のデータから～
新潟市消防局 救急課 山名 和則
- 9 山形市消防本部における血糖測定の実状と課題
山形市消防本部 渡邊 実
- 10 特定行為は語る：一関地域における低血糖発作の実状
岩手県 一関市消防本部 一関西消防署 高橋 雄大
- 11 拡大2処置の有効性について
湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部 近野 徳栄

一般演題 3 「教育・研修」

11:10 ~ 12:00

座長：須原 誠 (岩手県立中央病院 救急医療部)
浅野 良明 (新潟市消防局 救急課)

O-12 ワークステーション実習での救急隊員教育

秋田市消防本部 救急課 保坂 寛

O-13 二次医療機関である県立病院に設置した救急ステーションの教育と研修報告

十日町地域消防本部 警防課 救急室 保坂 繁之

O-14 若手職員がより積極的に発信できるワークショップ型症例検討会から得られた成果について

五城目町消防本部 館岡 雅志

O-15 救急業務非従事者に対する職場内研修について

盛岡地区広域消防組合 熊谷 嘉浩

O-16 iPED (周産期救急対応・搬送) コース地域開催を経験して

阿賀町消防本部 清野 司

ランチョンセミナー 2

12:10 ~ 13:00

座長：小林 道生 (石巻赤十字病院 救命救急センター)

LS-2 エビデンスから見てきた敗血症性DICの治療とrTM

医療法人福家医院 福家 良太

共催：旭化成ファーマ株式会社

一般演題 4 「応急手当普及・外国人対応」

13:50 ~ 14:40

座長：本多 忠幸 (新潟大学大学院医歯学総合研究科 救命救急医学分野)
村山 裕二 (山形市消防本部 東消防署 小荷駄町出張所)

O-17 イベントによる応急手当普及啓発について

秋田市消防本部 長岡 竜司

O-18 応急手当普及員講習と応急手当指導員講習
～初コラボレーションと受講者アンケートから～

大曲仙北広域市町村圏組合消防本部 救急救助課 佐々木光晴

O-19 秋田市における社会復帰の変化と今後の課題

秋田市消防本部 佐藤 聖華

O-20 外国人救急要請の現状と課題

盛岡地区広域消防組合 田中 栄貴

O-21 多言語通訳ツールを導入するに至った経緯について
～外国人対応事案から見てきたもの～

仙南地域広域行政事務組合消防本部 大河原消防署 佐藤 匡志

一般演題 5 「病院前救護 1」

14:50 ~ 15:40

座長：遠藤 智之(東北医科薬科大学病院 救急科)

瀬川 広幸(盛岡地区広域消防組合消防本部 盛岡西消防署 城西出張所)

O-22 蜂刺されによるアナフィラキシーショックの例

八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部 八戸消防署 中山 拓海

O-23 『くも膜下出血症例における考察』～再破裂予防のために～

奥州金ヶ崎行政事務組合消防本部 水沢消防署 伊藤久一郎

O-24 抗精神病薬服用中の傷病者が肺塞栓症を発症した一例

新潟市消防局 田村 雅人

O-25 救急活動時における適正な観察の実施について

石巻地区広域行政事務組合消防本部 日野 圭輔

O-26 救急隊の処置を望まない方への対応

湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部 小嶋 勇紀

一般演題 6 「病院前救護 2」

15:50 ~ 16:40

座長：小林 辰輔(会津中央病院 救命救急センター)

佐々木隆広(仙台市消防局 救急課)

O-27 変型胸部誘導法によりST上昇型急性心筋梗塞の可能性を医療機関に事前連絡できた一例

由利本荘市消防本部 池田 義徳

O-28 急性大動脈解離におけるショック症例の考察について

秋田市消防本部 加藤 敏雄

O-29 意識清明傷病者の持続性心室頻拍症例

男鹿地区消防一部事務組合 工藤 靖績

O-30 仙台港停泊の船内で救急活動中、別事案傷病者(CPA)が発生した一例

仙台市消防局 鈴木 泰幸

O-31 質の高いCPRとCCF向上についての検証

盛岡地区広域消防組合 小原 裕樹

第3会場：白檀1

一般演題 7 「救急初療」

9:00 ~ 10:00

座長：江部 克也 (長岡赤十字病院 救命救急センター)

- 32 臨床症状が軽度にも関わらず、救急外来にて急変し心停止に至った急性喉頭蓋炎の一例
岩手県立中央病院 研修医 原田 健登
- 33 救急外来で緊急挿管を行い、後に筋萎縮性側索硬化症と診断された1例
福島県立医科大学 地域救急医療支援講座 上野 智史
- 34 脳梗塞との鑑別が重要であった片麻痺症状で発症した頸髄硬膜外血腫の2例
新潟市民病院 救命救急・循環器病・脳卒中センター 田中 敏春
- 35 Hybrid Emergency Room Systemによる急性期治療を施行した脳梗塞の2例
東北大学病院 救急科 高度救命救急センター 伊藤 優太
- 36 偶発性低体温症によるfine VFを経胸壁エコーで判断し得た一例
医療法人 明和会 中通総合病院 救急総合診療部 鈴木 悠也
- 37 救急外来での負担軽減の取り組み
～クラウド画像共有システム「連携ボックス」を導入して～
雄勝中央病院 脳神経外科 國塚 久法

一般演題 8 「外傷・熱傷」

10:10 ~ 10:50

座長：石橋 悟 (石巻赤十字病院 救命救急センター)

- 38 積極的治療の適応を躊躇した超高齢者大量血胸の一例
温知会 会津中央病院 小林 辰輔
- 39 膝周囲骨折後、血流評価を繰り返し行うことで膝窩動脈閉塞を診断し得た一例
福島県立医科大学 地域救急医療支援講座 三澤 友誉
- 40 腹部鈍的外傷に対する開腹術後に腹壁壊死性筋膜炎を来した1例
国立病院機構 仙台医療センター 救急科 駒井 富岳
- 41 体外式膜型人工肺による呼吸管理を施行した気道熱傷の1例
東北大学病院 卒後研修センター 横山日南子

一般演題 9 「多臓器不全・凝固障害」

11:00～11:50

座長：花田 裕之（弘前大学大学院医学研究科 救急災害医学講座）

- 42 重度の多臓器不全に陥った青年期女性からの脳死下臓器提供の経験
長岡赤十字病院 岡部 康之
- 43 パルボウイルスB19感染後に発症した非典型溶血性尿毒症症候群に対し早期に血漿交換を開始し救命し得た1例
仙台市立病院 古田 恭平
- 44 インフルエンザウイルス感染に起因するウイルス関連血球貪食症候群の1例
東北大学病院 救急科・高度救命救急センター 横川 京子
- 45 2018年度当院救命センターに入院したインフルエンザ患者のまとめ
新潟大学医歯学総合病院 高度救命救急センター 上村 夏生
- 46 短期間に内出血を繰り返した一症例
岩手県立磐井病院救急科 松下 良

ランチョンセミナー 3 「より早く、より正確に！ 一敗血症診療」

12:10～13:00

座長：久志本成樹（東北大学大学院医学系研究科外科病態学講座救急医学分野）

- LS-3 救急集中治療における循環管理について
東北大学大学院医学系研究科外科病態学講座救急医学分野 久志本成樹
東北大学大学院医学系研究科外科病態学講座救急医学分野 川副 友
共催：エドワーズライフサイエンス株式会社

一般演題 10 「災害医療」

13:50～14:30

座長：緑川 新一（日本海総合病院 救命救急センター）

- 47 “病院避難”判断のあり方
岩手県立大船渡病院救命救急センター 山野日辰味
- 48 東日本大震災：災害関連死と長期避難者数/住家被害との関連性
岩手県立大船渡病院救命救急センター 山野日辰味
- 49 巡回診療を撤収するときは保健師にも引き継ぐべきである
～平成30年北海道胆振東部地震からの事例報告～
長岡赤十字病院 救急科 小林 和紀
- 50 ドローンを利用したマラソン救護について
株式会社ファーストエマージェンシー 佐藤武論毅

一般演題 11 「中毒・代謝障害」

14:40 ~ 15:30

座長：篠原 一彰 (太田西ノ内病院 救命救急センター)

- 51 青色の吐瀉物が中毒物質の推定に寄与した意識障害の一例
津軽保健生活協同組合健生病院 救急集中治療部 入江 仁
- 52 意識障害と肝機能障害を来したクロロホルム中毒の1例
大崎市民病院 和賀 望浩
- 53 グルコースおよびインスリン投与の有効性が示唆されたカルシウム拮抗薬中毒の一例
新潟大学医歯学総合病院 高次救命災害治療センター 戸田 遼
- 54 テリパラチド投与を契機に急激に悪化したT細胞リンパ腫による高Ca血症の一例
温知会会津中央病院 玉川 栄樹
- 55 トラベルミン中毒により遅発性致死性不整脈を呈した1例
東北大学病院 高度救命救急センター 多田 周平

一般演題 12 「ドクターヘリ」

15:40 ~ 16:40

座長：瀬尾 伸夫 (山形県立中央病院 救急科)

高橋 利行 (仙南地域広域行政事務組合消防本部 白石消防署)

- 56 ドクターヘリ搬送症例の検討
大崎市民病院 救急科 宮坂 矩博
- 57 フライトナース待機中の救急外来業務の明確化
—救急外来看護師とフライトナースの認識の変化—
独立行政法人国立病院機構仙台医療センター 看護部 救急外来 沼田 智絵
- 58 ドクターヘリ入電時要請基準 (キーワード要請) を開始して
男鹿地区消防本部 警防課 水戸瀬克典
- 59 都市近郊地域におけるドクターヘリの活用について
塩釜地区消防事務組合消防本部 多賀城消防署 小澤 拓矢
- 60 民間企業の協力を得た山間部の僻地における早期医療開始の取り組みについて
大曲仙北広域市町村圏組合消防本部 角館消防署 佐藤 勝昭
- 61 栗原市内で同時間帯に発生した重症外傷傷病者へのドクターヘリ対応事案
栗原市消防本部 早坂 恵太

第4会場：白樺2

一般演題 13 「救急外来・教育・研究」

9:00～10:00

座長：宮崎 博之（福島県立医科大学附属病院 救命救急センターICU/CCU）

- 62 救急外来受診患者に付き添う家族の待ち時間実態調査
一般財団法人 竹田健康財団 竹田総合病院 救急室 星 まき子
- 63 二次救急病院の救急入院患者における救急外来滞在時間の検討
北村山公立病院 本間 淳一
- 64 救急搬送された患者の家族と看護師が重要と考えるニーズの認識についての比較検討
仙台市立病院 救命救急センター 山内 えり
- 65 新人看護師がNEWS（早期警告スコア）を活用する効果について
津軽保健生活協同組合 健生病院 救急外来 小田桐勇武
- 66 救急車同乗研修を導入したことによる効果
秋田大学医学部附属病院 加藤 貴則
- 67 救急外来看護師の災害初期対応に関する現状把握
秋田赤十字病院 救急外来 佐藤 一美

一般演題 14 「救急病棟・院内急変対応」

10:10～10:50

座長：菅原 明美（公立置賜総合病院 救命救急センター）

- 68 A病院集中治療室に於ける,qSOFAの有効性の検証～SIRS,SOFAと比較して～
公益財団法人 宮城厚生協会 坂総合病院 救急センター 松本 剛
- 69 多発外傷患者の集中治療後症候群に着目した関わり
独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター 救命救急センター 中村 咲
- 70 人工呼吸器早期離脱プロトコル導入におけるパートナーシップの効果
仙台医療センター 齋藤 栞
- 71 院内の防ぎ得た死をなくすための一歩
—METとリハビリ科との合同急変時シミュレーションの効果—
津軽保健生活協同組合 健生病院 金田亜貴子

**認定看護師企画 「これからの救急領域看護師に求められること
～キーワード「地域医療」～**

11:00 ~ 12:00

座長：渡邊 晶子 (みやぎ県南中核病院 救命救急センター)

- W-1 地域における2次救急医療機関の役割について
～救急看護認定看護師の視点から～
公益財団法人宮城厚生協会 坂総合病院 救急センター ICU 高橋 千枝
- W-2 「地域医療支援の役割を持つ大学病院」の救急看護師に求められること
東北医科薬科大学病院 救急センター 清水 直子
- W-3 「予防」「生活支援」も視野に入れたつなぐ救急看護
石巻赤十字病院 澁谷多佳子
- W-4 地域医療との連携において救急領域看護師に求められる役割を地域医療の視点から考える
医療法人 土橋内科医院 諸沢えりか

一般演題 15 「トリアージ・緊急対応」

13:50 ~ 14:30

座長：宮沢 寿 (新潟市民病院)

- O-72 t-PA対象疾患と類似した低血糖性片麻痺患者との関わりから救急外来看護師がすべき
事を考える
医療法人社団脳健会 仙台東脳神経外科病院 江口 薫
- O-73 トリアージ質の向上に向けて 現状と今後の課題
山形市立病院済生館 救急室 放射線科 高橋 優美
- O-74 適切な再トリアージを行うための対策
トリアージ判定用紙を変更し、ホワイトボードを使用して
東北医科薬科大学病院 救急センター 高山 聖子
- O-75 当院における院内トリアージの現状と今後の課題
一般財団法人温知会 会津中央病院 救命救急センター 矢沢 綾花

一般演題 16 「取り組み・調査研究2」

14:40 ~ 15:40

座長：小山 敦 (いわき市医療センター 救命救急センター)
 武田 智道 (安達地方広域行政組合消防本部 南消防署)

- 76 冬期間における救急車内温度管理
置賜広域行政事務組合消防本部 村上 篤
- 77 救急救命士の乗車人数は活動時間に影響をあたえるのか？
黒川地域行政事務組合消防本部 佐藤 栄治
- 78 周産期・新生児の救急対応について
置賜広域行政事務組合 米沢消防署 東部分署救急係 桜澤 直人
- 79 職場における感染症対策について
黒川地域行政事務組合消防本部 赤間 俊博
- 80 女性救急救命士のライフイベントにおける現状と課題
岩手県 一関市消防本部 一関西消防署 千葉友理恵
- 81 海上での救急活動
第二管区海上保安本部 仙台航空基地 海谷 雄一